

# 避難時に注意すること

---

国土交通省 河川局

## 避難時に注意すること 事前の備え編

### 1. 避難場所・避難経路の確認

○安全な避難を行うために、洪水ハザードマップなどを活用して、どの避難所へどの道を使って避難するのか確認しましょう。

・ハザードマップポータルサイト

<http://www1.gsi.go.jp/geowww/disapotal/index.html>

○家族が離れているときの安全確認の方法を決めておきましょう。

○建物の倒壊の危険がなく、周囲が浸水した場合には、避難所に避難するよりも、自宅の二階以上や付近のビルに避難する方が安全な時もあります。周辺の状況を確認して避難しましょう。

### 2. 非常時の持ち出し品

○貴重品、衣類、非常用食品などを準備しておきましょう。

○懐中電灯やラジオの準備もしておきましょう。

○避難時の荷物は必要最低限にしましょう。

# 避難時に注意すること 避難時編 その1

## 1. 情報の確認

○雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。

- ・川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>
- ・XバンドMPLレーダー雨量情報 <http://www.river.go.jp/xbandradar/>

## 2. 防災責任者の指示に従う

○避難のときは警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。独断での行動は大変危険です。

## 3. 動きやすい服装、集団での避難

○避難するときは、動きやすい格好で、二人以上での行動を心がけましょう。

## 4. 避難時の歩き方

○避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、自宅の二階以上や近所のビルに避難しましょう。

○浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。

## 避難時に注意すること 避難時編 その2

### 5. 隣近所への呼びかけ

○お年寄りや子供、病気の方は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまとめておくと便利です。

### 6. 車での避難は危険

○自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変で危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。

### 7. 橋や川の近くは危険

○川が増水している場合には、川の流れる速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。

### 8. 川や用水路を見に行かない

○大雨の時に、川や用水路の様子を見に行ったことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。